

「私もバラオ生まれなんですね。お客さん、南洋庁って知ってる?」。10年ほど前でしょうか。家の近所で乗り合わせたタクシーで、それほどのお年には見えない運転手さんから突然言われて驚いたことがあります。

戦前の「南洋庁」といえば、第一次大戦後、国際連盟委任統治領となった南洋諸島の行政を行った機関です。駅までの道中、当時多くの日本人がバラオに住んでいたこと、作家の中島敦が官吏として南洋庁に勤務していたことなどを懐かしそうに教えていただきました。どこか遠い異国の歴史の彼方の存在、そんな響きを持つ「南洋」が、急に近しく感じられたのを覚えています。

今年で戦後70周年。4月には、天皇皇后両陛下がバラオをご訪問される予定とのこと。バラオも太平洋戦争の激戦地。ニューギニア島、ガダルカナル島、サイパンも大洋州です。日ごろ楽園のイメージで捉えられがちな大洋州の国々ですが、今年は、そこで行われた戦闘と戦没者をあらためて思い起こす機会も多くなるのではないのでしょうか。

今月の特集テーマも「大洋州」。学校では「オセアニア州」として習った方々も多いと思います。「太平洋」の「太」ではなく、「大洋」の「大」。何だか茫漠とした印象を受ける名前でもあります。そこには、多様な国々、社会、自然があり、個性豊かな人々が住み、そして、同じ島しょ国である日本と共通の課題にも取り組んでいます。JICAも大洋州に9つの拠点を置いて、大洋州の国々と日本との間にある、長い歴史と協力、幅広い人のつながりと友情がさらに深まるよう活動を展開しています。今回の特集が、生き生きとした大洋州と、そこで活躍する日本の方々の姿をお伝えする一助になればと思っています。

報道課長 早川 友歩

本誌へのご意見・ご感想や JICAへのご質問を お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2015年4月15日

Eメール：jica@idj.co.jp
FAX：03-3221-5584（『mundi』編集部宛）

- ① フィリピンのモリンガ製品
- ② 書籍『恋するソマリア』（p37参照）
- ③ 書籍『生物多様性保全の経済学』（p37参照）



①



②



③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金を確認後、発送手配をいたします（入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください）。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F
TEL 03-3221-5583
FAX 03-3221-5584
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2015年4月1日発行予定)

基礎教育

開発途上国では学校に行けない、卒業できない、進学できない子どもがたくさんいる。誰にでも学ぶ権利はある。一人でも多くの子どもたちが学校に行けるよう日本が取り組む国際協力を紹介します。

mundi

MARCH 2015 No.18

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>) でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。